

6月の長雨による災害復旧費などに 6568万3千円を追加

一般会計予算の総額は109億3031万8千円

9月11日から25日まで、平成27年第3回長島町議会定例会が開かれました。平成27年度一般会計補正予算や長島町過疎地域自立促進計画の一部を変更すること、社会資本整備総合交付金工事長島港工事請負契約（浦底地区、口之福浦地区2工区）など、20議案が可決されました。

旧費・公共土木施設災害復旧費6568万3千円などです。今回追加された予算の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

平成27年度一般会計補正予算は、2億9956万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ109億3031万8千円としました。

今回補正された歳出の主なものは、マイクロバス車庫の建設工事費2589万3千円や、社会保障・税番号制度の施行に伴う電算改修経費936万6千円、ブーゲンビリアの丘整備事業費3493万8千円、6月の長雨による農林水産施設災害復



↑6月の長雨により被災した農道（弓削地区）



↑マイクロバス車庫建設予定地



↑改修予定の空き家（本浦地区）

小・中学校 統合・再編 No.4

長島町立小・中学校の統合再編にかかる4回目の意見交換会が9月30日、長島町役場会議室で開催されました。3回目の会議で町長部局と教育委員会との方向付けが確認できたことにより、今回は議会からの出席も得られ、町長部局、教育委員会、議会による初めての3者協議が行われました。

町長部局から統合再編の枠組みの素案として「①小学校は複式学級を解消して5校とする。②中学校は1校を目指す。③中学校の間は2校とする。④中学校を1校に統合再編する時に小学校も4校に統合再編する」ということが提案されました。教育委員会からは「子どもたちのために、よりよい教育環境を整えることが大前提であり、中学校1校、小学校4校に統合再編することが望ましい。さらに、将来的には小中学校一貫校として同一敷地内に設置することも検討すべきである」と、こ

れまでと同じ考えが示されました。

議会からは、学校統廃合調査特別委員会を設置し、これまでに7回の協議を行っているが一定の結論は得られておらず、引き続き協議をしていくことなどが報告されました。

その後に、町長部局からの素案をもとに、協議が行われました。小学校の複式学級解消の推進については、3者とも異論はありませんでした。しかし、中学校の統合再編については、当面は2校として将来的に1校を目指すのか、それとも、はじめから1校にするのか。1校とする場合の設置場所はどこにするのかなどについて、活発な意見交換が行われました。

以上のような協議の結果、
1. 小学校の統合再編については、複式学級の解消を推進するため、対象の小学校において説明会を早急を実施する。
2. 中学校の統合再編については、引き続き協議していくこととする。統合再編のパターンや場所等について、保護者の声を確認する手段として、アンケートを実施し、協議の参考としていく。
の2点について、3者で確認されました。
次回はアンケート結果の集計後に開催を予定しています。

追加された予算の主な事業

総務課	
町制施行10周年記念事業（関東ながしま会郷土芸能派遣）	1,702
マイクロバス車庫建設工事	25,895
鷹巣庁舎駐車場石張等工事	6,000
消防	
東分遣所建設工事敷地造成設計業務委託	8,306
企画財政課	
社会保障・税番号制度施行に伴う電算改修経費	9,366
町民福祉課	
障害者医療費	15,630
放課後児童健全育成事業	9,729
一時預かり事業	1,380
延長保育事業	1,844
水産商工課	
漁協サメ駆除補助金	1,250
北さつま漁協製氷施設改修工事補助金	4,000
町単漁港整備事業（汐見漁港）	3,500
観光パンフレット作成業務	1,735
自然休養村センター耐震診断業務委託	1,556

景観推進課	
長島ぐるっとフラワーロード沿線整備事業	22,000
ブーゲンビリアの丘整備事業	34,938
ツツブキ植栽・管理委託	15,000
水道課	
鷹巣農業集落排水処理施設中継ポンプ更新	2,767
農林課	
青年就農給付金事業	6,000
チップパーシュレッダー購入費	1,674
道の駅「望陽」修繕費	1,711
耕地課	
6月の長雨による農業用施設等災害復旧費	1,640
6月の長雨による農地災害復旧費	27,943
6月の長雨による単独災害復旧費	27,500
建設課	
地方特定道路整備事業の市町村負担金	9,510
花壇石花設置工事	3,900
鷹巣宮之浦港線・上揚菅牟田線の道路舗装	2,500
空き家改修工事	25,229
6月の長雨による単独災害復旧費	8,600

土曜授業

～第1回～

鷹巣小学校

旧日本浦小学校区の住民との交流学習

9月から町内の小・中学校では、毎月第2土曜日に土曜授業が始まりました。各学校が創意工夫をこらして実施する土曜授業を紹介します。

鷹巣小学校（脇村洋一校長、児童239人）は今年度から日本浦小学校と統合し、統合後は、日本浦小学校区住民との連携はこれまで以上に重要と考え、昨年からの交流活動を進めてきました。

そこで、同校では9月から実施される土曜授業を活用し、毎月一学年ずつ年6回、日本浦小学校区の住民との交流学習を計画しました。

この交流学習を通じて、児童の郷土を大切にしている心育を育て、諸浦島の自然に触れながら活動することで、豊かな心を育てることを目指します。

9月12日、日本浦小学校の体育館と運動場で行われた1回目



↑カルタ取りを楽しむ児童たち

の交流学習は、鷹巣小学校4年生45人が、日本浦小学校区の住民ら16人と交流しました。児童たちは運動会へ向けて練習してきた「運動会の歌」などを披露し、その後、体育館と運動場に分かれて、お手玉やカルタ取りの昔の遊びやグラウンド・ゴルフを一緒に楽しみました。

参加した堀切多美子さんは「交流会の連絡がきたときはうれしかった。閉校となって寂しいが、久しぶりにこの学校で交流会ができて楽しかった」と話しました。